

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和3年度)

調査表

施設名	宮崎県ひなもり台県民ふれあいの森
指定管理者	公益社団法人宮崎県森林林業協会
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日
県所管部課	環境森林部森林経営課森林管理推進室

1 施設利用状況

指標	R3	R2	R1	増減理由等
ふれあいの森利用者数(人)	66,049	73,858	86,126	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために休園や入場制限等を実施したことによる利用者数の減少。
オートキャンプ場利用者数(人)	13,457	14,454	18,104	
主催事業参加者数(人)	800	1,022	4,007	
コメント	令和元年度まで利用者数は増加傾向であったが、令和2年度当初から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者数等が伸び悩み、目標値(ふれあいの森:80,000人、キャンプ場15,000人)を下回ることとなった(事業計画書の計画値を目標値としている)。落ち込んだ利用者数をいかに回復していくかが今後の課題である。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R3	R2	R1	支出	R3	R2	R1
指定管理料	29,500	29,313	29,313	人件費	26,877	26,168	25,798
利用料金収入	23,817	22,009	26,839	報償費	170	125	177
受取負担金	2,515	0	0	旅費	98	48	330
雑収入	141	239	659	需用費	13,961	10,513	10,382
				役務費	852	898	1,022
				賃借料	1,340	1,568	1,580
				保険料	374	390	459
				負担金	75	73	80
				委託料	7,022	6,379	6,395
				租税公課	2,713	2,968	3,368
				その他	1,317	1,069	1,393
				県納付金	493	813	3,348
合計(①)	55,973	51,561	56,811	合計(②)	55,292	51,012	54,332
収支差額(①-②)	682	549	2,479				
コメント	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者数は減少するも、利用料金収入及び収支は昨年度から増加し、効果的・効率的な事業運営が行われている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和3年度に新たに取組んだ内容

事項	実施内容
清掃	森林体育館、宿泊施設、管理車道等の清掃(随時)
保守・点検	消防設備点検(年2回)、電気設備保守点検(月1回)、浄化槽保守点検(週1回)、給水施設保守点検(随時)等
警備	園内巡回、宿直体制による警備(キャンプ場宿泊利用者がある場合)
修繕	センターハウス自動ドア修繕、キャビン冷蔵庫修繕、センターハウス裏シャッター取替
備品等管理	備品台帳の整備、エアコン(ひなたキャビン)、乗用芝刈り機購入
安全対策	作業器具の技術研修、救急救命講習会、自衛消防訓練、避難訓練
その他	芝生管理、植栽木維持(剪定)、新型コロナウイルス感染拡大防止対策(場内消毒や入場時の検温)等
サービス提供体制整備	通年開園の実施、宿泊バック割引・メンバーズ割引・子育て支援割引制度、ゆったりキャンプ割引制度(冬期のアーリーチェックイン、レイトチェックアウト)、利用者満足度調査(アンケート)の実施、ひなもり台利用促進協議会の開催、苦情処理検討委員会の開催、ワーケーションモニターツアーの実施
イベント等ソフト面充実	企業訪問、イベント案内チラシの発送、新聞・雑誌掲載等による広報活動、スタッフブログ・インスタグラムによる情報発信、年越しキャンプ等自主イベントの開催、年賀状発送によるリピーターの獲得
施設設備等ハード面充実	水道設備の整備、Wi-Fi設備の拡充、キャビン自動洗浄トイレ設置、センターハウス・サニタリーA照明LED化、ひなたキャビンの設置
その他	
管理運営体制	職員の能力を育成する接遇研修や技術研修等の実施
コメント	施設の維持管理は適正に行われている。 また、新型コロナウイルス感染症対策については、入場時における検温や消毒の徹底、ソーシャルディスタンス確保のための利用者数制限、利用者名簿の作成など、「新しい生活様式」の実践を徹底し、安心して利用できる環境を整えている。 さらに、各種割引制度やひなたキャビンの設置など、利用者拡大に向けた企画運営が行われている。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査等
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
施設・設備の管理や職員対応等については概ね高い評価を得ているが、木製遊具について老朽化した遊具撤去、新設の要望がある。	引き続き、県と連携しながら木製遊具の撤去、新設について検討していく。令和3年度事業で、一部施設の撤去及び設置を実施。

5 総合評価

評価コメント	マスメディアやSNSを活用した積極的な情報発信、職員の接遇マナー研修の実施、きめ細かな場内整備などを通じて、常にリピーターの確保やサービス向上に取り組んでおり、利用者から高い評価を得るなど良好な管理運営が行われている。新型コロナウイルス感染症対策についても「新しい生活様式」の実践を徹底し、安心して利用できる環境を整えている。
今後の課題と対応	新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数をいかに回復させるかが課題であり、同時に感染拡大防止のための措置についても、引き続き国や県の方針を踏まえ機動的に対応していくことが必要である。